

<博物館探訪> 第1回

## 兵庫県立 人と自然の博物館

開館時間 午前10時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日

(休館日が祝祭日と重なる場合はその翌日)

観覧料金 大人 200円, 大・高生 150円

中・小生 100円

\* 県内在住の中・小生はココロカードの提示により無料。

交通 神戸電鉄 フラワータウン駅 下車すぐ。

所在地 〒669-13 三田市弥生が丘6丁目

電話 (0795)59-2001

F A X (0795)59-2007

この博物館は、兵庫県に待望の自然史系の博物館として平成4年10月10日に開館された。請願に際して、兵庫県生物学会の尽力があったと伺っている。

この博物館の特徴は従来の博物館の機能(資料の展示、広報活動、調査研究)に加えて、学术交流、データバンク、ジーンバンク、シンクタンクといった新しい機能をもっていることである。

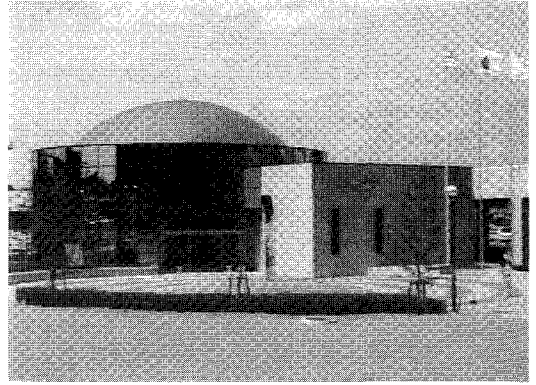
博物館は二課(総務課, 普及課)、一室(情報管理室)と5つの研究部(地球科学研究部, 系統分類研究部, 生態研究部, 生物資源研究部, 環境計画研究部)よりなる。

この度、博物館にお伺いして橋本光政先生、福岡憲助先生に博物館の近況を教えていただいた。

博物館の収蔵庫に保管される資料は基本となるデータが必要であり、採集場所、標本名、採集日時、採集者名なども明確に記載されていることが大切である。この標本を多くの研究者が利用し、研究することを考えると当然のことと思われる。寄贈された植物さく葉標本は、細見末男氏寄贈のシダ植物・種子植物(20000点)、稲田又男氏のシダ植物(3000点)、田口美智太郎氏(1500点)、安木五夫氏(10000点)、橋本光政氏(23000点)などがあり、目下整理中のものもあるが、収蔵品の核となっている。これらの標本は、経度・緯度が入力されコンピュータに保存されているので、分布なども表示できる。ただし、貴重なデータなので安易に利用せず地道で謙虚な研究姿勢をもった人に活用していただきたい。

なお、収蔵庫には昆虫、岩石、化石など多くの貴重な標本も研究資料として保管されている。

博物館の広報普及活動として、土曜セミナー・自然科学教室・特別集中セミナー・自然観察会・自然との語り入門講座などが実施されているが、平成6年4月から夜のセミナー(仮称)が年6回ほど開講される予定であ



る。なお、パソコン通信「ミュージズネット HYOGO」が設置されており、会員になるとデータベース検索・催し物の案内・人と自然の質問箱などの利用ができる。

私も7回ぐらい訪れたが、展示も興味深く、積極的に活用したいところである。(中西)



標本貼付

(撮影 橋本)



レファレンスルーム

(撮影 橋本)